

寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。
昨年末の絵のまち年の瀬大抽選会では約1200本のガラガラ抽選に
ワクワクドキドキ♪また初開催の絵のまち餅つきには約180名の方
が集い、つきたてのお餅を頬張ってニコニコ♪
ご来場された皆様やスタッフの笑顔がはじけていました。



新店舗紹介

「ここにも新しいお店があるよ、何のお店かな？」年末年始にたくさんの声が聞こえてきました。ということで、最近オープンした3つのお店をちょっとのぞいてみましょう！

tatsuki BAKE
(2025.10.17 オープン)

「お母さんが子供に
食べさせたくなるパン」

何のお店？

ケソンアジュク（韓国の伝統菓子：もち米粉を配合した生地を油で揚げて、シナモンと生姜シロップに漬け込んだもの）とパン、焼き菓子をお楽しみいただけます。

絵のまちに通りにオープンしたきっかけは？

尾道でフレンチシェフを10年つとめた後、別業種の家業を継いでいましたが、やはり飲食の道が忘れられず、まずは4年前に松永にパン屋さんを開きました。今回、高校時代からずっと愛着ある尾道でもっと自由に地元の方や観光の方に表現したい！と思いオープンしました。



メッセージをどうぞ！

自社農園で取れた野菜や、福山バラ公園の薔薇から抽出した「バラ酵母」を使い、季節を感じさせる色々な種類のパンやお菓子を焼いています。どうぞお気軽に立ち寄りください！

**TEA FACTORY GEN**
(2025.10.25 オープン)

「身土不二：生まれ育った土地
で育ったものを食べる」

何のお店？

尾道と世羅で店主自ら無農薬で愛情を込めて作った日本茶を飲んで味わっていただけです。

絵のまちに通りにオープンしたきっかけは？

京都や鹿児島で修行し、10年前に世羅の茶畠を引き継ぎ独立しました。尾道では今は向島と、そして御調にも今年お茶を植え育てる予定です。住んでいる尾道で日本茶を育て、ここ尾道で飲める場所を作りたい！世界中を見渡しても茶葉の生産とお茶が飲めるお店が直結しているのは珍しいのです。



メッセージをどうぞ！

お茶を熟知した店舗のチームメンバーが淹れた日本茶をゆっくりと飲んでみてください！味、香り、色など日常では気づかないお茶文化を肌で感じられます。お茶の淹れ方もレクチャーしますよ♪

**Books&Cafe 灯書堂**
(2025.12.26 オープン)

「日常に、ひとときを」

何のお店？

長年、出版・書店業界にいた店主が選ぶ新刊書籍を配した本屋と、くつろぎのひとときをご提供するカフェの融合空間です。

絵のまちに通りにオープンしたきっかけは？

2019年に東京から地元尾道にUターンしました。尾道は全国的にも知名度はあるのに、新刊書籍の本屋が身近にない。やはり本好き店主としては人々が行き交う商店街に書店を開き、皆様に本に触れ合って欲しい！という熱い思いからです。



メッセージをどうぞ！

膨大な新刊書籍の中から「心が落ち着く本」「人生が豊かになるような本」を店主が一冊一冊選んでいます。本を読みながらサイフォンで淹れたコーヒーやセイロンティー、自家製焼菓子でゆっくりとした時間を過ごしてください♪



1/21に絵のまち通り交流会を行いました。同じ商店街にいても「初めまして」の方々や外部の方も参加され、絵のまち飲食店の自慢料理を囲んで商店街や尾道の未来をざっくばらんに語り合いました。今年も絵のまちをよろしくお願ひいたします♪

尾道本通り商店街の情報はこちら：<https://onomichi-hondoori.jp/>
『絵のまち通信』へのご意見・お問い合わせはこちちら：enomachi241212@gmail.com

O N O M I C H I



WEB版

